

IIDA CITY
広報

いいだ

2025
(令和7年)

6

No.1196



「諸葛孔明」 ©川本プロダクション／撮影：田村 實

特集

飯田市川本喜八郎人形美術館 — 川本喜八郎生誕100年記念事業 —

テレビ人形劇『三国志』 諸葛孔明
【飯田市川本喜八郎人形美術館】

川本喜八郎の生誕100年を記念して、
特別展やイベントを開催しています。
この機会にぜひお越しください。

飯田市川本喜八郎人形美術館

— 川本喜八郎生誕100年記念事業 —



第31回常設展人形劇三国志「英雄列伝」を展示中の3階ギャラリー

「人形劇のまち飯田」を象徴する場所

高い芸術性を備えた人形アニメーションを生み出し、NHK人形劇『三国志』などで多くのファンを魅了した人形美術家・川本喜八郎。

川本は1990年の人形劇カーニバル飯田（現・いいだ人形劇フェスタ）での人形劇『三国志』公演に合わせて、初めて飯田市を訪れました。

江戸時代に人形浄瑠璃が伝わって以来、300年以上も伝承されてきた歴史や、人形に情熱を傾ける飯田の人々が発した「人形が生きている」という言葉に川本は深い感銘を受けます。この飯田こそ「人形たちに一番ふさわしい場所」と考え、『三国志』『平家物語』などの人形200体余りを飯田市へ寄贈しました。その人形たちを展示する施設として、「人形劇のまち飯田」の中心施設として2007年に開館したのが「飯田市川本喜八郎人形美術館」です。

現在、常設展では『三国志』『平家物語』を中心に、生誕100年に合わせたテーマで約100体の人形を展示しています。



騎馬軍団 メカ馬



美術館外観



川本喜八郎 ©川本プロダクション

日本を代表する人形美術家

川本喜八郎 (1925-2010)

1925年に東京で生まれた川本は、今年生誕100年を迎えました。NHKテレビ人形劇『三国志』や、人形歴史スペクタクル『平家物語』で人形美術を担当し、多くのキャラクターを生み出したことで知られています。そのほか、ミツワ石鹸の『三人娘』などテレビCMを数多く手がけ、1960年代放送のNHK教育番組「おかあさんといっしょ」の『ブーフォーウー』には人形制作で参加。人形の精巧なつくりと放送直後から大きな反響が寄せられました。人形アニメーションでは、能や歌舞伎、文楽など日本の伝統芸能や手法を生かした作品制作に取り組み、世界でも高い評価を受けています。つくり込まれたキャラクター像と人形の造形美は、いまなお多くのファンを魅了しています。

川本喜八郎の主な作品

人形劇

テレビ撮影に適した人形の構造にしなが^{せい}らも、精緻なつくりは美術品としても楽しめます。火や水を使った演出は、川本人形劇ならではのものでした。

- ❖ NHKテレビ人形劇『三国志』(1982年)
- ❖ 人形歴史スペクタクル『平家物語』(1993年)

人形アニメーション

人形の動きを分割し、1コマずつ撮影するコマ撮りという方法が使われています。1秒を24コマで構成された映像からは、緻密^{ちみつ}に表現された人形の哀愁を感じます。

- ❖ 『花折り』(1968年)
- ❖ 『道成寺』(1976年)
- ❖ 『鬼』(1972年)
- ❖ 『火宅』(1979年) ほか



©川本プロダクション／撮影：田村實
人形劇『三国志』曹操



©川本プロダクション／撮影：田村實
人形劇『三国志』劉備(右) 淑玲(左)



©川本プロダクション／撮影：田村實
人形歴史スペクタクル『平家物語』静



『花折り』大名・太郎冠者・小坊主
©川本プロダクション／撮影：田村實



『道成寺』女
©川本プロダクション／撮影：田村實



『死者の書』藤原南家郎女
©桜映画社／川本プロダクション



トッパン絵本シリーズの
人形制作を担当



アサヒビール『ほろにが君』シリーズ、
ミツワ石鹸『三人娘』など

川本喜八郎が影響を受けた人形アニメーション作家

人形アニメーション界の巨匠

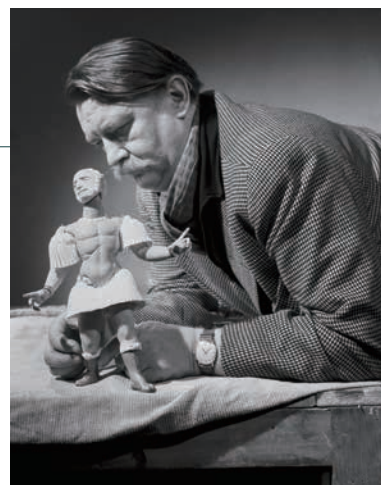
イジィ・トルンカ (1912–1969)

チェコ・プルゼニ出身のトルンカは、幼少期から近代人形劇の父ヨゼフ・スクパ主宰の人形劇団に参加するなど、人形に親しんでいました。プラハ工芸大学に進学後、グラフィックやリトグラフなどを学び、新聞や絵本の挿絵を描いて生活をしていました。



『チェコの四季』 横田正夫さん／所蔵

第二次大戦終戦後、チェコの国立映画製作所の仕事を依頼され、映画を手掛けるようになります。ブジェチスラフ・ポヤルら若手クリエイターがトルンカに持ち掛けて実現した自身初の長編人形アニメーション『チェコの四季』(1947年)を皮切りに、多くの人形アニメーション作品を手がけています。



イジィ・トルンカ ©Archiv B&M Chochola

人生最大の師 トルンカと川本喜八郎

1952年、川本はトルンカの『皇帝の驚^{うぐいす}』(1948年)に出会いました。当時、人形づくりを一生の仕事にしてよいものと悩んでいた川本は、初めて見た人形アニメーションに感動し、「これを一生の仕事にしても、悔いはない」と決意。1963年、単身チェコへと渡り、トルンカから直接教えを受けました。1990年にチェコのトルンカ・スタジオで撮影した『いばら姫またはねむり姫』で、月夜の晩にいばら姫が流す涙は『皇帝の驚』へのオマージュ(敬意)が示されています。



1990年、川本64歳の時チェコのトルンカ・スタジオにて
©川本プロダクション



チェコのスタッフと共に『いばら姫またはねむり姫』を制作
(左から3人目が川本喜八郎)
写真提供／峰岸裕和さん



『真夏の夜の夢』カシラ
横田正夫さん／所蔵



『チェコの四季』
横田正夫さん／所蔵

『皇帝の驚』
横田正夫さん／所蔵
※モントリオール万博用につくられたレプリカ

川本喜八郎生誕100年特別展Ⅰ

「川本喜八郎が影響を受けた人形アニメーション作家」
イジィ・トルンカ作品展 6月8日(日)～8月31日(日)

川本喜八郎生誕100年特別展Ⅱ

人形劇『項羽と劉邦』展 川本喜八郎が遺した未完の夢

会期 9月13日(土)～11月30日(日)

川本は『三国志』『平家物語』に続く人形劇『項羽と劉邦』の制作に取りかかっていました。放送は未定のまま、台本の一部と人形は残され、幻の企画となりました。本展では、未完に終わったこの「最後の人形劇」の資料と人形を通じて、川本が晩年に描いた壮大な物語の世界をご紹介します。



項羽
©川本プロダクション／撮影：田村實



劉邦
©川本プロダクション／撮影：田村實



始皇帝
©川本プロダクション／撮影：田村實

川本喜八郎生誕100年記念イベント

川本が人形制作のために収集した古布を使っでの小物づくり、特別展にあわせた企画など大人も子どもも楽しめる、特別なイベントがもりだくさん！

- 6月22日(日) カフェ・ド・トルンカ 1日限定復活
- 7月12日(土) 古布でしおりづくり
- 7月30日(水) 写生大会 ※小学生以下対象
- 8月2日(土) デジタル写生大会 ※中学生以上対象
- 8月23日(土) 長編人形アニメーション『死者の書』特別上映
- 10月5日(日) 古布でブローチづくり
- 11月3日(祝) 『三国志』諸葛孔明の帽子づくり
- 12月28日(日) つきたて餅の振る舞い



美術館情報を随時更新中！

開館時間／9:30～18:30
(入館は18:00まで)

休館日／毎週水曜日(祝日は開館)、年末年始

入館料／一般…400円

小中高生…200円

※いいだ人形劇フェスタの参加証ワッペン提示で
小中高生は入館無料

問い合わせ／〒395-0044 本町1丁目2
☎0265(23)3594



X
(旧 Twitter)



川本喜八郎人形美術館
ウェブサイト

飯田市 川本喜八郎人形美術館
IIDA CITY KAWAMOTO KIHACHIRO PUPPET MUSEUM

オーケストラと友に音楽祭2025



オーケストラに登場する楽器を体験



市民とプロ・オーケストラが一緒になって創り上げる「オーケストラと友に音楽祭2025」が5月3～6日に開催されました。

竜峡中学校体育館では、コミュニティコンサートが行われ、名フィル木管五重奏、竜峡中学校・竜東中学校吹奏楽部、川路小学校金管バンド、三穂小学校の児童ほか有志の皆さんが合同演奏をしました。

第39回飯田やまびこマーチ



八重桜を楽しみながら歩く参加者



山本地区婦人会のおもてなし

晴天に恵まれた4月26・27日、約1,900人が春の南信州を巡りました。

名勝「天龍峡」までの起伏に富んだ市内一周コース(40km)や、風越山と対岸の美しい眺望を楽しむ竜東コース(16km)などの長距離のコースにも多数の参加があり、チェックポイントでは、地域の皆さんのおもてなしで疲れを癒していました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

第49回飯田都市緑化祭



4月26・27日に中央公園多目的広場で開催され、ツリークライミング体験や苗木の無料配布などがありました。高所作業車の乗車体験では、普段見ることのできない景色を楽しみました。

天龍峡八重桜街道桜まつり



龍江今田平農村広場で4月27日に行われました。特設ステージでは、今田人形や不動太鼓、龍江大獅子などが披露され、また広場ではこども向けの縁日もあり、多くの人で賑わいました。

千代よこね田んぼ



5月9日、千代保育園の園児が田植えをしました。田植えを終えた後は泥んこ遊びを楽しみ、「よーいどん!」のかけ声とともに歓声をあげながら田んぼを駆け抜けていました。

おもしろ科学大実験



南信州おもしろ科学工房が、「おもしろ科学大実験」をかざこし子どもの森公園で開きました。こどもたちは、サイエンスショーやワークショップなどを通じて科学の面白さに触れました。

現代版 養生訓

泌尿器科
中 藤 亮 医師

前立腺肥大症

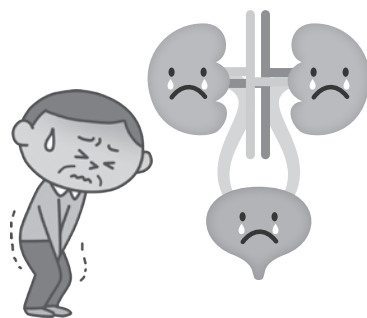
前立腺は男性に特有の臓器で精液の主な成分である前立腺液を分泌します。前立腺は膀胱の出口の部分で尿道を取り巻くようにあり、加齢に伴って大きくなります。尿道を圧迫するようになると尿の通り道が狭くなり、排尿の症状を引き起こします。これが前立腺肥大症です。

代表的な症状として、尿の勢いが悪くなり出るのに時間がかかるようになります。排尿しても膀胱に尿が残るようになり（残尿）、進行すると膀胱がいっぱいでも尿が出せない状態（尿閉）になります。尿閉が長期に続くと腎臓の機能が低下してしまい生命にかかわる事態にもなります。

前立腺肥大症の治療として、まずは薬物療法があります。排尿の時に前立腺の部分の筋肉を緩めて尿が勢いよく出るようにするお薬や、男性ホルモンの働きを抑えて前立腺を大きくしないようにするお薬、漢方薬などがあります。

残尿が多い場合や、尿が出なくなってカテーテル

（排尿のための管）が必要な場合は手術治療を行うこともあります。手術は前立腺がある程度以上の大きさで、膀胱の機能が保たれている人が対象になります。標準的な手術方法として尿道から細い内視鏡を入れて前立腺を少しずつ切り出す前立腺切除術があります。出血や手術時間などの負担があり、心臓や肺の機能などに問題のある方はできません。体の負担が少ない手術方法として、前立腺に水蒸気を注入して小さくさせる前立腺水蒸気治療があり、昨年から飯田市立病院でも行えるようになりました。尿道の広がり具合は切除する手術よりも小さくなりますが、手術時間や出血量を大幅に少なくすることができます。



飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.49

図書館に行こう！2

市長室から

市長 佐藤 健

飯田市座光寺出身の亀本寛貴さんと豊丘村出身の松尾レミさんのロックユニット「グリムスパンキー」の凱旋公演が、3月末飯田文化会館で開催されました。高校生30名を含む約100名の実行委員の皆さんによって企画運営されたライブは、骨太のロックでありながら、お二人の人柄と地元愛が溢れる心温まるものでした。

そして、嬉しくまたびっくりしたのは、凱旋公演の様子を特集したテレビ番組で、松尾レミさんが飯田市立中央図書館で絵本について熱く語っておられたこと。『げんきなマドレーヌ』について熱弁をふるい、『せいめいのれきし』（バージニア・リー・バートン文・絵、いしいももこ訳）を紹介するレミさんの

姿は「絵本愛」に溢れ、その圧倒的な情報量には同席した司書の方も驚いていました。彼女が紡ぐ詩の豊かさのバックグラウンドが図書館にあったことを知り、我が意を得たりと思ったことでした。「サンライズジャーニー」という曲を書くきっかけとなったという『バスにのって』（荒井良二著）、私は読んだことがなかったので、さっそく図書館に借りに行きました。

中央図書館には、レミさんのサインとともに、レミさん推薦の絵本や美術書を集めたコーナーが設けられています。

グリムスパンキーのファンの皆さんや番組をご覧になった皆さんが、これをきっかけに図書館に足を運んでくれたら嬉しいです。